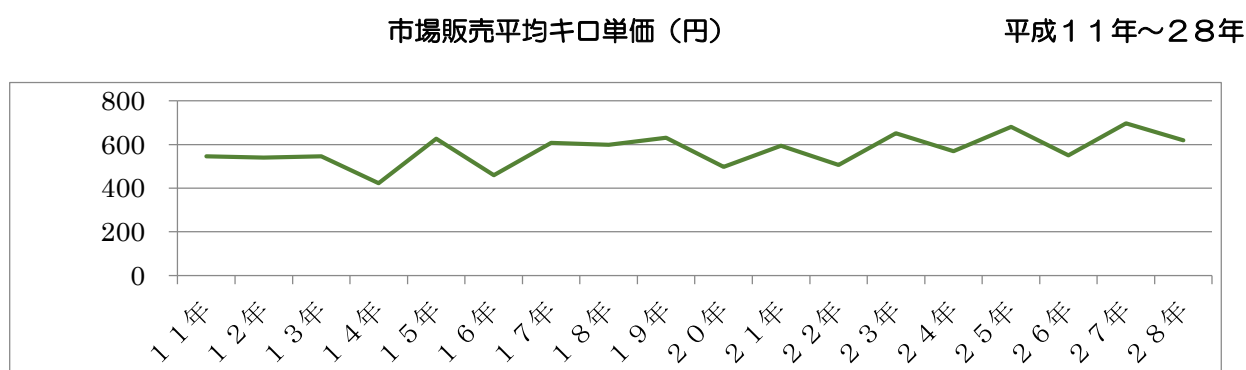
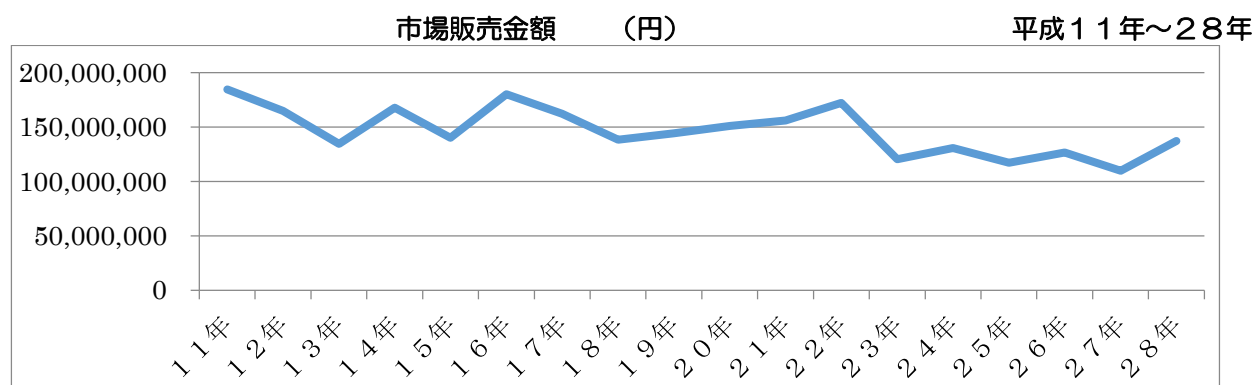
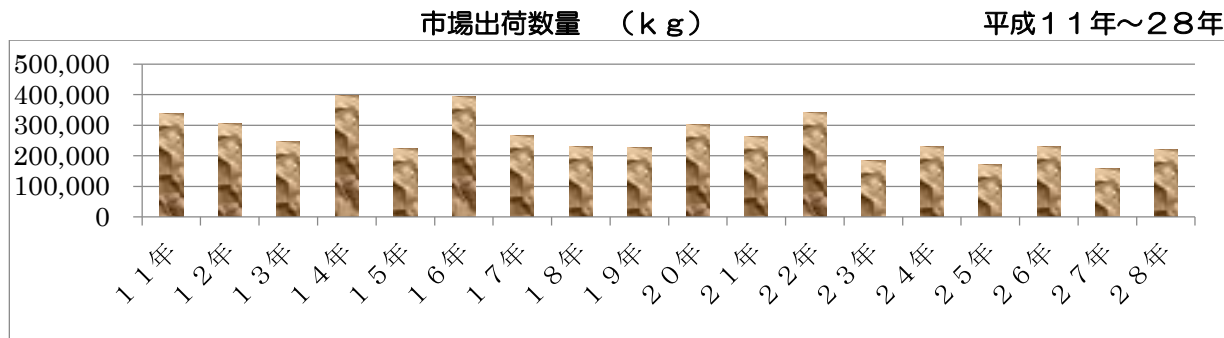


営農ウィークリーNEWS

平成28年産タケノコの市場出荷実績が出ました

平成28年産タケノコは豊作だったといえますが、市場出荷ベースでは、平成24年や26年と変わらない出荷量となりました。

販売は好調で、過去18年間の平均単価を上回っています。



二番茶摘み・ホットプレート製茶を体験

—TAC information



茶生産地である、向島支店管内の京都市立向島小学校は4年生を対象に、校内の茶園にて二番茶摘み体験と、ホットプレート製茶の体験学習を実施されました。

指導にあたったのは、向島支店管内の中西義明さん。

地元の子供たちにも、向島地域の茶産業を知ってもらおうと、毎年4年生を対象に実施しています。



JA京都中央平成28年6月28日

No.299 作成者 道尾利之

乙訓農産加工場の加工用原料は前年84tに対し、
148tの入荷量がありました。(受入れ期間4月4日～5月5日)

乙訓農産加工場では、缶詰加工原料用のタケノコを引き受けています。
受け入れ範囲は、乙訓支店管内、大山崎支店管内、海印寺支店管内の一部、
向日市寺戸地域を引き受けています。

本年タケノコの生育は暖冬と表年が重なり、前進化したことで大玉傾向だったことが
特徴です。その結果、例年を超える入荷量となりました。

加工したタケノコは18ℓ(ガロン缶)に詰めますが、本年は4,634缶が出来上がり、
ただいま売り込み中です。



タケノコ掘りをする乙訓
支店管内春田忠男さん



乙訓農産加工場の
タケノコ加工風景

原料タケノコ入荷状況

平成26年～28年

(単位 kg)

